

新退教通信

No.184

2021.7.1

新 退 教 員 連 絡 協 議 会
〒025-281-8146

アフター コロナ



新退教会長

大坂 和夫

新型コロナウイルス感染症が日本で確認されてから1年半が経とうとしています。変異ウイルスの出現によりその勢いは一向に衰えることなく収束の見通しが立っていません。皆様も何かと不自由な生活を余儀なくされていることと思います。新退教も昨年到现在まで中止せざるを得なくなりました。

6月現在、首都圏や関西圏で3度の「緊急事態宣言」等が発せられ、さらに他の道県にも拡大しなければならぬほど感染が蔓延し、医療体制が逼迫しています。ワクチンの有効性は接種先進国で実証され早い接種が求められています。当初菅首相は、今年の前半までに全ての国民にワクチンを提供できる数量を確保すると言っていました。空手形でした。ワクチン接種は、やっと2月に医療従事者から始まりましたが、5月下旬になっても完了

していません。また、高齢者への接種は5月に始まりましたが、予約で混乱するなど接種は遅れています。その中、菅首相は唐突に高齢者への接種を7月末までに完了すると明言しました。早く接種できることに異論はないのですが、今の医療状況を考慮すると無理があるようです。その無理な計画は、どうも東京五輪・パラリンピックの開催実施も影響していると言われています。

直近の世論調査で内閣不支持が支持を大きく上回ったとの報道がありました。その要因は直接のコロナ感染対策や五輪・パラリンピックの対応等が支持されていないと言われています。その中で注視しなければならぬことが4月の世論調査です。新型コロナウイルスなどの感染症や大規模災害に対応するための内閣の権限強化や私権制限が想定される緊急事態条項の新設を容認する「憲法改正」の声が反対を上回ったのは感染の不安を反映した結果と言えます。折しも自民党の下村博文政調会長は、「…コロナのピンチを逆にチャンスに変えるべきだ」と国民がコロナ感染症で苦しんでいる状況下での発言は不謹慎との報道がありました。これが安倍政権を引き継いだ菅政権の「改憲」に対する本音です。

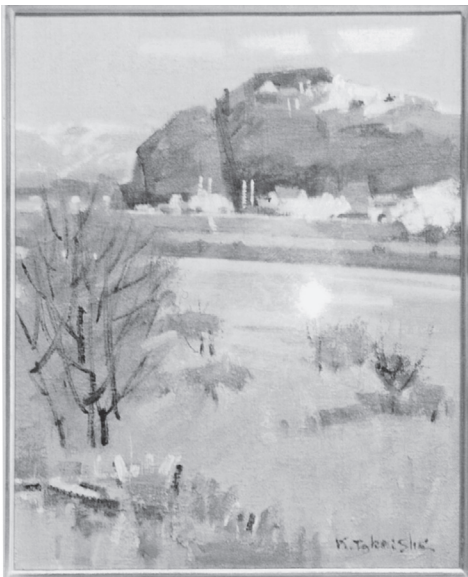
コロナ感染対策に多額の財政支出が行われています。そのしわ寄せは、更なる増税や社会保障の負担増など国民生活に直結します。条件はありますが、75歳以上の医療費窓口2割負担の引き上げはその一歩と言えます。

コロナ禍、「明けない夜はない」と言います。明日が文字通り明るい日とするためにも私たち新退教の会員は、今の状況を注視し、できることを新教組と共に協力して行きましょう。

目次

(敬称略)

1p	巻頭言	会 長	大坂 和夫
2p	退任	前副会長	片桐 信
3p	新任	前会計監査	鈴木 誠司
6p	支部から	新副会長	小池 洋
7p	がんばれ後輩	新会計監査	中川 清
8p	みんなの広場	岩船支部	武淵 和昭
		上越支部	滝沢 武司
		新教組	小松はる子
			小林 靖裕
			山上オクラ



絵画「城山の春」(寺泊)
武石錦夫さん(三南支部)

新退教総会 中止

新型コロナウイルス禍により、残念ながら今年度も5月の総会を中止を余儀なくされた。このため、総会議案を各支部に送り、書面表決していただき、原案通り承認となった。

長引く新型コロナウイルス禍によって、日本の脆弱さも露呈してきた。次世代や未来のために、私たち高齢者はもつと発言し行動したい。

〔会計報告〕 4P参照

諸行事中止により出費は大幅に減った。中止の際、「その分を50周年記念事業に回したら」という意見をいただいたので、12月の支部代表者会（文書による）に諮り、100万円の臨時積み立てを行った。

〔役員選出〕 4P参照

本部役員選考委員会（滝澤武司委員長、村上岩船支部）からの報告・提案通りに、向こう2年間の本部役員が選出された。

活動方針

重点1 新型コロナウイルス禍で大きな制約を受ける中、「新退教らしい活動」を工夫する

・ 投書奨励（新潟日報等へ投書）

社会連帯、発言、脳活

重点2 加入者・読者会員・賛助会員を増やす
重点3 今後の新退教づくりを視野に入れながら、50周年事業1年目を推進する

〔事業計画〕 3P参照

例年通りであるが、新型コロナウイルス禍で中止等もありうる。（先を見通せないのが辛い）

〔予算〕 5P参照

会員減で厳しい予算になりつつある。

〔50周年記念事業関係〕

5/28、実行委員会（各支部1人＋本部）が発足した。各支部からの委員は次の通り。

- 1 土地 源光（新潟支部）
- 2 横山 弘（長岡支部）
- 3 小林 裕史（三南支部）
- 4 小林 公一（柏刈支部）
- 5 有田 好（北新支部）
- 6 新井 秀和（新潟五泉支部）
- 7 遠藤 昇（西蒲燕支部）
- 8 渡邊 勲（北魚支部）
- 9 小野塚正春（南魚支部）
- 10 市川 正（中魚支部）
- 11 松村 久夫（上越支部）
- 12 磯谷 正芳（糸魚川支部）
- 13 本間 直也（岩船支部）
- 14 山岸 善晴（佐渡支部）

退任にあたり



前副会長
片 桐 信
（上越支部）

1年前、副会長に任命いただき、本会発展のために精一杯の努力をするつもりでお受けしました。しかし、新型コロナウイルスの猛威で各種会議や行事が中止になり、不本意な1年となりました。

今後は一会員として、本会発展のために、各種行事に積極的に参加し、本会に貢献できたらと願っています。

退任のあいさつ



前会計監査
鈴 木 誠 司
（西蒲燕支部）

4期8年の長い任期を務めることができました。これも皆様方のご指導ご支援によるものであり、誠にありがとうございました。

私の在任中は、会員の減少による財源の圧迫が大きな課題でした。それで、組織対策委員会が特設され、様々な提案がなされました。それを受けて、関係者の実践努力により乗り越えることができました。



新退教 2021行事等予定



(*新型コロナウイルス禍で、取消線は中止、波線下線は変更箇所)

- | | |
|------------------------------|---------------------------------|
| 4 / 9 (金) ①本部事務局会 | 4 / 24 新教組主催「退職教職員慰労会」 |
| 4 / 21 (水) 会計監査 | 6 / 5 新教組定期大会 |
| 5 / 28 (金) 新退教総会 | 6 / 11 日退教総会 (日本教育会館) |
| 7 / 1 (木) 新退教通信184号発行 | 6 / 16 北プロ総会 (新退教担当) |
| 7 / 28 (水) ②本部事務局会 | 8 / 23 新退連定期大会pm |
| 9 / 15 (水) 50周年事業実行委員会 | 9 / 20 地公4単産・地公退高齢者集会(東京) |
| 10 / 20 (水) 学びの集い | 9 / 21 日本退職者連合高齢者集会(東京) |
| 11 / 5 (金) ③本部事務局会 | 9 / 中旬 ワーク&ライフ |
| 12 / 1 (水) 新退教通信185号発行 | 10 / 7 五者合同学習会 (東京) |
| 12 / 13 (月) 支部代表者会 & 現役員交流会 | 10 / 8 日退教組織活動交流集会 (東京) |
| 1 / 上旬 新退教通信「加入案内号」発行 | 10 / 16 新教組県教研 (湯沢町) |
| 2 / 上旬 ④本部事務局会 | 1 / 8 新教組旗開き |
| 3 / 1 (火) 新退教通信186号発行 | |
| 3 / 9 (水) 支部事務局長会 & 教職員共済説明会 | |

新退教本部事務局主催 <ことぶき講座>

◇14:00~15:30 新教組会館 申込は5日前までに

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 4 / 28 (水) 始めよう エンディング・ノート | <笑いヨガorフラダンス&芸能ショー> |
| 6 / 25 (金) 4コマ漫画を描こう | ① 9 / 10 (金) |
| 7 / 16 (金) スマホ何でも相談 | ② 10 / 29 (金) |
| 8 / 25 (水) ルールを知る…囲碁・将棋・麻雀 | ③ 1 / 28 (金) |
| 9 / 22 (水) 投書文を書こう | ④ 3 / 18 (金) |
| 11 / 19 (金) 子どもの本&シルバーの本 | |
| 1 / 14 (金) パソコン&スマホ相談 | |
| 2 / 16 (水) 申告しよう 確定申告、市・県民税 | |

新任にあたって



新副会長
小池 洋
(上越支部)

この度、副会長に選出されました。どうかよろしくお願い申し上げます。

新退教は高齢化、会員減、50周年等多くの課題を抱えています。運営面でも組織に対する個の関わり方が大きく変わってきたことを強く感じています。役員の皆様と新退教の在り方について真剣に考えていくことが必要と考えています。

就任にあたって



新会計監査
中川 清
(西蒲・燕支部)

私は40周年記念誌の編集後記で、新退教の課題として次の2点を挙げました。

- ① 会員加入促進と財政再建
 - ② 支部活動の拠点確保と組織の維持存続
- 今も続くこれらの課題解決のために、会計監査の視点からその方向性を見定め、皆さんとともに一緒に考えたいと思っています。微力ですが、精一杯つとめます。

2020年度 会計報告

収入の部

(決算減△)

項 目	予 算	決 算	増 減	適 用
1 繰 越 金	815,472	815,472	0	前年度より繰越
2 会 費	2,180,000	2,115,000	△65,000	1,000円×2,115人(会員2,099人+読者会員16人)
3 寄 付 金	700,000	700,000	0	新教組より
4 預 金 利 子	8	9	1	利子
5 雑 収 入	120,000	15,900	△104,100	チラシ配布8400、パンフ代7500
6 計	3,815,480	3,646,381	△169,099	

支出の部

(決算増▲)

項 目	予 算	決 算	増 減	適 用
1 総 会	250,000	7,504	242,496	5月(中止・書面表決)
2 支部代表者会	90,000	7,290	82,710	12月(中止・書面表決)
3 支部事務局長会	30,000	12,714	17,286	3月
4 北プロ会議	120,000	10,000	110,000	北プロ負担金(北プロ総会中止)
5 特設委員会	60,000	0	60,000	(役員選考委員会、連絡を取り合って運営)
6 事務局会	140,000	60,472	79,528	事務局会、事務局各部会
小 計	690,000	97,980	592,020	
7 情 宣 費	270,000	261,098	8,902	新退教通信、入会案内号
8 行事・研修・調査	450,000	0	450,000	学びの集い中止
9 記 念 事 業	0	0	0	
小 計	720,000	261,098	458,902	
10 通 信 費	120,000	97,276	22,724	送料、切手・はがき、電話代
11 備 品・消 耗 費	35,000	14,017	20,983	パソコンインク代、事務用品
12 各 種 旅 費	200,000	177,700	22,300	各種会議・ことぶき講師・作業補助等
13 雑 費	150,000	18,544	131,456	会計監査、教職員名簿、祝儀
14 事務局活動費	700,000	700,000	0	事務局活動費
15 事務局備品購入費	20,000	19,800	200	fax電話機入れ替え
小 計	1,225,000	1,027,337	197,663	
16 分 担 金	400,000	391,256	8,744	日退教、新潟県退職者連合
17 支部活動補助費	370,000	368,380	1,620	前年度納入金×0.16
18 積 立 金	50,000	1,050,000	▲1,000,000	50周年積立(毎年5万、臨時100万…諸行事中止分)
19 予 備 費	360,480	0	360,480	
20 そ の 他	0	0	0	
小 計	1,180,480	1,809,636	▲629,156	
合 計	3,815,480	3,196,051	619,429	

残高の部 3,646,381 (収入決算) - 3,196,051 (支出決算) = 450,330 (残金)

2021年度 本部役員

役 名	氏 名	備 考
会 長	大 坂 和 夫	新潟支部
副 会 長	小 幡 晴 美	小千谷魚沼支部
	小 池 洋	上越支部
	北 島 理 子	上越支部
	米 山 忠 彦	長岡支部
	岡 島 祐 次	新教組委員長
事 務 局 長	山 岸 修	新潟支部
幹 事	甲 斐 年 史	新潟支部
	神 田 久 子	新潟五泉支部
	里 村 俊 夫	西蒲・燕支部
	篠 沢 講	西蒲・燕支部
	本 間 満	新潟支部
	徳 留 信 登	新教組書記長
顧 問	幸 田 越 夫	西蒲・燕支部
会 計 監 査	土 田 博	三南支部
	中 川 清	西蒲・燕支部
日退教北陸ブロック会長	大坂 和夫	
新潟県退職者連合幹事	大坂 和夫	

特別会計1 (50周年積立)

2019年度末	550,089
2020年度積立・臨時	1,050,000
賛助会より	50,000
本年度利子	5
現在高	1,650,094

特別会計2 (災害基金)

2019年度末	2,591,444	繰り越し
義援金総額	146,190	2020 7月豪雨義援金(11支部より)
見舞金支出	-146,190	日退教へ送金
利子	24	利息2回
現在高	2,591,468	来年度へ繰越

特別会計3 (賛助会)

2019年度末	1,366	繰り越し
2020年会費	98,000	収入 1,000円×98人
情宣費	-3,080	支出 クリアホルダ
通信費	-18,980	支出 新退教通信等送料
旅 費	-14,500	支出 旅費(作業ボランティア等)
補 助	-60,800	支出 50周年積立5万、取組支部助成
現在高	2,006	来年度へ繰越

2021年度 予 算

収入の部

(昨年度比減▲)

項 目	本年度予算	昨年度予算	増 減	適 用
1 繰 越 金	450,330	815,472	▲365,142	前年度より繰越
2 会 費	2,000,000	2,180,000	▲180,000	1,000円×2,000人
3 寄 付 金	700,000	700,000	0	新教組より
4 預 金 利 子	3	8	▲5	利子
5 雑 収 入	100,000	120,000	▲20,000	全国生きがい協会(行事補助10万)
6 計	3,250,333	3,815,480	▲565,147	

支出の部

(昨年度比減▲)

項 目	本年度予算	昨年度予算	増 減	適 用	
会 議 費	1 総 会	250,000	250,000	0	5月
	2 支部代表者会	90,000	90,000	0	12月
	3 支部事務局長会	30,000	30,000	0	3月
	4 北プロ会議	120,000	120,000	0	北プロ総会、代表者会
	5 特設委員会	0	60,000	▲60,000	(役員選考委員会を設置しない)
	6 事務局会	140,000	140,000	0	事務局会、事務局各部会
小 計	630,000	690,000	▲60,000		
事 業 費	7 情 宣 費	270,000	270,000	0	新退教通信、加入案内号
	8 行事・研修・調査	400,000	450,000	▲50,000	学びの集い
	9 記念事業	0	0	0	(50周年実行委員会は別会計で)
	小 計	670,000	720,000	▲50,000	
事 務 費	10 通 信 費	120,000	120,000	0	送料、切手・はがき、電話代
	11 備品・消耗費	35,000	35,000	0	パソコンインク代、事務用品
	12 各種旅費	150,000	200,000	▲50,000	各種会議・講師・作業補助等の旅費
	13 雑 費	100,000	150,000	▲50,000	
	14 事務局活動費	700,000	700,000	0	事務局活動費
	15 事務局備品購入費	0	20,000	▲20,000	fax電話機
小 計	1,105,000	1,225,000	▲120,000		
16 分 担 金	400,000	400,000	0	日退教、新潟県退職者連合	
17 支部活動補助費	340,000	370,000	▲30,000	前年度納入金×0.16	
18 積 立 金	50,000	50,000	0	50周年積立	
19 予 備 費	55,333	360,480	▲305,147		
20 そ の 他	0	0	0		
小 計	845,333	1,180,480	▲335,147		
合 計	3,250,333	3,815,480	▲565,147		

2021年度 新退教 各支部事務所

支部	〒	支 部 事 務 所	事務所TEL	支部長	事務局長
1 新 潟	951-8122	新潟市中央区旭町通1-86-1	025-222-9839	本間 和行	上地 源光
2 長 岡	940-0048	長岡市台町2-9-13 新学協中越出張所内	0258-35-2854	横山 弘	諏訪部寛栄
3 三 南	955-0046	三条市興野3-1-9 教育文化会館内	0256-33-2347	土田 博	宮島 敏明
4 柏 刈	945-0055	柏崎市駅前2-2-18-202 サンライズビル3F	0257-23-2862	吉田 教悟	小林 公一
5 北 新	957-0016	新発田市豊町1-2-13 下越支部会館内	0254-22-2065	有田 好	古田セツ子
6 新潟五泉	956-0861	新潟市秋葉区北上3-8-21	0250-23-3279	佐々木 均	新井 秀和
7 西蒲・燕	959-0134	燕市真木山251	0256-98-2589	遠藤 昇	原田 完二
8 北 魚	949-7302	南魚沼市浦佐895-3 魚沼支部会館内	025-788-1101	小林 謙一	武田 定純
9 南 魚	949-7302	南魚沼市浦佐895-3 魚沼支部会館内	025-788-1101	若井 利信	庭野 和也
10 中 魚	942-1526	十日町市松代3514	025-597-3546	市川 正	高橋吉太郎
11 上 越	943-0821	上越市土橋中島816-1 教育会館内	025-525-5535	小池 洋	松村 久夫
12 糸魚川	949-0301	糸魚川市須沢3549	025-562-3528	磯谷 正芳	野上 正和
13 村上岩船	958-0847	村上市大工町1-4 教職員組合会館内	0254-53-2292	滝沢 武司	山口又一郎
14 佐 渡	952-1313	佐渡市八幡町330-3 佐渡教育会館内	0259-57-2337	山岸 善晴	清水 勝

支部からのたより

早期退職からの楽しみ



南魚支部 事業部長
武淵 和昭

定年退職の挨拶状が届き、自分も今年が退職の年だったのだと思い出した。

旅館を継ぐために退職し、初めは毎日が日曜日で楽だと思っただが、旅館は日曜日こそ忙しく休みがないと知った。

旅館を休みにして、「大人の休日バス」

で旅行に行くようになった。青森日帰り、富士山を見に日帰り、餃子を食べるだけのために宇都宮へ、とその日に思いつくまま新幹線に飛び乗った。

新型コロナウイルスのために旅行も還暦祝いも我慢しているが、コロナの収束ができたならあれをしようこれをしようと考えることが今の楽しみ。

高校の2年生のクラスで同級会をすることも、必ず実行する最優先事項である。楽しみは待つ時間も楽しい。

状況です。

支部活動とコロナまん延



村上岩船支部

滝沢 武司

去年2月頃からまん延し始めたコロナウイルス感染の猛威は、人々の対策と忍耐を嘲笑うかのように未だ衰えることを知りません。

その影響は、人々の日常の生活は勿論、組織も2年連続で本部・支部総会が開催できず、活動方針や具体的な活動計画等の形式承認の形で運営され、これまで継続してきた各種活動や会合も思うように動かない

しかし具体的な活動ができないことを嘆いてばかりで動かなければ前進はなく、苦況や停滞をどう克服するか考える必要が大切です。

その一つの手掛りに、まもなく「新退教結成50周年事業」が具体的に組み込まれます。

ぜひ「新退教に集うなかま」「つながりの大切さ」「温かさの実感」をみんなで考え合い、語り合い、新たな角度から具体的な活動が提起され、飛躍を願いたいと期待します。

支部だより100号



上越支部 幹事
小松 はる子

上越支部だよりが100号発刊を迎えた。100号発刊を機にたよりを読み返してみた。

●第30号平成11年6月 支部総会に100名出席、15名の新会員加入。「加入率低下を懸念」とある。今抱えている課題が既にこの時取り上げられていたことに驚いた。

●第70号平成23年3月 与党民主党・国会議員は襟を正して日本を救え(2月22日: ニュージーランドのクライストチャーチ直下型地震、3月11日: 東日本大震災、3月12日: 長野北部地震、大雪。) 10年たった今もお復興半ばである!! そして、新型ウイルスが世界中の人を苦しめている。

たよりからは、出来事ばかりでなく、困難に立ち向かう諸先輩方の前向きな姿勢が伝わってくる。一人ではできなくともできることがある。新退教の一員としてできることが!!

学びの集いご案内

今年度は半日日程で開催します。講師は伊藤充さんで、『新潟県県民性の歴史』『新潟県県民性の人物史』『新潟県県民性の民俗史』の3部作を著すなど、県民性に造詣が深い方です。ご期待ください。(参加申込は各支部へ)

・期日 10/20(水) 10時半～ 新教組会館
・講演 伊藤充さん(新潟青陵大学特任教授)
「新潟県の女性と県民性」

その歴史と未来」

年金減とウイルス禍

本年度の年金額は、0.1%下がりました。マイナス改定は4年ぶりですが、来年度以降も引き下げが続きます。

ウイルス禍で昨年の賃金水準は下がりました。年金額改定の基となる賃金水準は、過去3年間平均を採るため、来年度以降3年間の年金額を押し下げます。そして、今後マイナ

ス改定が続くとマクロ経済スライドの「繰り越し」により、物価上昇場面でも年金額は上がりにくくなります。

年金生活を守るため、日退教・日退連・退公連等と手を携え、声を上げていきましょう。

署名のお願い

3月の標準法改正で、全国的には小2～小6の35人学級が5年かけて実現します。

新潟県では小中学校の35人以下学級が導入されており、これは新教組を中心とする運動の成果です。今年も、小5以上の下限25人条件の撤廃等を求め、12月県議会に提出する「30人以下学級実現：教育予算増」の請願署名に取り組んでいきます。ご協力をお願いします。

・署名用紙1枚に10筆。(1筆でもOK)
・提出先は新退教各支部



こんにちは 新教組です



がんばれ後輩!

県央支部書記長
小林靖裕
(三条市嵐南小)

感染症の影響で、昨年度はほとんどの会議・集会を中止としました。今年度は会議にリモート参加できるような環境を整え、組合員が集まる機会を確保したり、安心して活動したりできるようにしたいと考えています。また、課題である組織強化・拡大についてこれまで以上に力を入れてとりくみ、仲間を増やしていきたいと思えます。

がんばれ新教組!

「教員免許状更新講習」

2021年4月28日付の文科省通知により、定年退職者等の再任用等(常勤、非常勤は問わない)にあたっては、教員免許状更新講習の未更新者が更新講習を受講しなくても採用可能となった。

(未更新者が現場復帰の際、免許更新講習の再受験が負担となり、教員の欠員が出る現状の一因となっている。日教組は、法改正を含めた免許更新制の早期廃止を引き続き強く求めている。)

【今、学校で】

GIGAスクール構想の下、全ての小中学校において「一人一台端末」がほぼ整備された。家庭でのパソコン有無等によるIT格差を埋める意味でも重要だが、教職員の負担が大きい。ぜひ教職員増を。

教職員共済「自然災害共済」

雪害・風水害・地震により建物が損壊した場合の補償には定評がある。火災共済とセットで契約。掛け金は少し高いが万一の場合には断然効果を発揮する。一度見積もり依頼を。

みんなの広場



デジタル化と個人情報

山上オクラ

ファイブジー?オレ等のことかと皆に聞き政府はデジタル庁なるものを新設し、様々なデジタル化を押し進めたいらしい。ある人が指摘する。運転免許証とマイナンバーカード、銀行口座をデジタル化(紐付け)すると、政府に都合の悪い言動をした人の免許証取り上げと口座差し止めが、いとも簡単にできるのだと。個人情報管理は死ぬまで、いや死んでも気を付けないと。それが本当の故人情報!

【ミニ情報】



○会員夫妻の「ぎやらりー浜つばき」(TEL 0256-77-2013、土日月開館) 7/31〜8/30 (8/14〜16休み) 渡辺欣次版画展(96才山の日に寄せて)、9/11〜27山田貴広焼き絵展、10/2〜18金子朗子きりえ展、10/23〜11/8黒田明子(木版画)・浦上幸子(陶芸)展、11/13〜29谷和彦(帽子)・アリアナキムリ(仏画)展、12/4〜20ねんど母さん縁起人形展

○会員の小山孝治さんは、2月に文芸社から童話『アマビエくん』を出版した。(ペンネーム小山宗太郎、1200円+税、新退教通信前号参照)

○4月の十日町市議会選挙で滝沢貞親さんが当選。これで県内の日政連議員は計9人になった。(日政連議員を増やそう!)

○7/31 名立機雷事件を通して平和を考える 1600〜上越教育会館 新教組上越支部

○8/1 長岡大空襲の日 800〜 亡くなった子どもたち…略…を追悼する集い(平和の森公園) 900〜 平和祈念式典(アオーレ長岡)

○新教組 県教育研究集会 10/16 湯沢町

◇改正高年齢者雇用安定法が4/1から施行され、70歳までの就業機会の確保を努力義務として企業に課した。

◇65歳以上の県内介護保険料(今後3年間の基準月額)の県平均は6302円で過去最高。(発足時の2000年は2774円)

◇後期高齢者の医療窓口負担を2割に上げる「医療制度改革関連法案」が成立し、「課税所得28万円以上かつ年収200万円以上(現役並みは3割)は窓口負担2割」になる。(退職者連合は2割負担に基本的に反対し、避けられないとすれば所得の高い範囲にすべきと主張してきた)新設後、政令で年収基準を引き下げることが可能なので、厳しい監視が必要。

☆世界経済フォーラムは3月に男女格差報告を公表した。日本は120位で先進7か国中最下位。特に遅れているのが政治分野147位(女性の議員や閣僚が少ない等)。政府の本気度が問われる。

☆「国境なき記者団」による日本の報道自由度は67位(昨年66位)。

原稿募集

「4コマ漫画」「みんなの広場」「ミニ情報」等を募集しています。どうぞご応募を。

△あとがき▽



選挙違反の河井夫妻へ自民党が支出した1・5億円を巡って、幹事長も当時の選対委員長も関与してないと言う。では、誰が?不正腐敗選挙を許してはならない。(山岸)